

しょうがっこうこうがくねん ぷ
小学校高学年向き

「大人になるまえに知っておきたいお金のこと」

ハイジ・フィードラー／作 ブレンダン・カーネイ／絵
こばやしれいこ／訳 福島正人／監修
ひさかたチャイルド（337フ）

お金って、どんなしくみになっているんだろう？お金を稼いで、かしく使うにはどうしたらいいんだろう？大人になるまえに知っておきたいお金のことを、楽しいイラストとともにわかりやすく説明します。



「ブラックホールの飼い方」

ミシェル・クエヴァス／作 杉田七重／訳
小学館（93クエ）

つらいことがあると、つい自分をそらしたくなる。ブラックホールに食べさせて、なかったことにできないかな。大好きなパパとの思い出も、ブラックホールに食べてもらえば、全部忘れて苦しくなくなるのに。大切な人との辛い別れをどう乗り越えるのか。自分の心の中の宇宙と向き合い、忘れたいこと、忘れちゃいけないことを教えてくれる本です。



「午前3時に電話して」

小手鞠るい／著 大庭賢哉／画 講談社（コデ）
誰にも話せない悩みを抱え、3人の親友たちの前から姿を消したみなみ。ふと入ったブックカフェで、誰でも自由に書いて良いという「白い本」を見つける。みなみは「白い本」に自分たちの物語を書き始め…。
読後感さわやかな男女仲よし4人組の青春友情小説です。

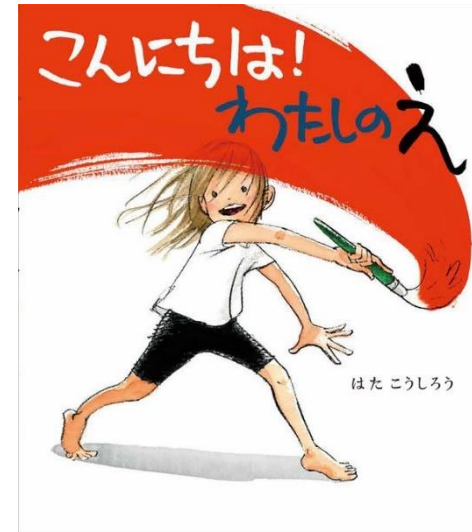


よんで よんで

図書館から小学生のみなさんにおすすめの本をご紹介します

No. 86 2021年9月発行 鶴ヶ島市立図書館児童サービス担当

しょうがっこうていがくねん ぷ
小学校低学年向き



「こんにちは! わたしのえ」

はたこうしろう／作 ほるぷ出版（E）
絵の具と筆と自分の手足を使って、目いっぱい好きなように自由に絵を描きます。描き上げたあと爽快な気分になります。本当にお家の中でかいたら、部屋が大変なことになってしまい怒られてしまうかも。

「はやしてひろったよ」

ひさかたチャイルド (653ハ)

あきのはやしの中にはたくさんのものが落ちて
います。茶・緑・黄・橙・赤というカラフルな葉っぱや木の実があります。秋になったらはやしに散歩に行き、これらを拾い集めてみましょう。色々な発見ができるかもしれません。



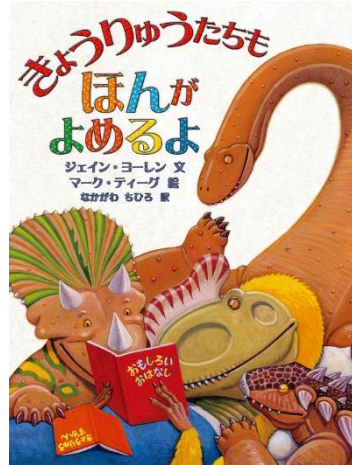
「きょうりゅうたちもほんがよめるよ」

ジェイン・ヨーレン/文 マーク・ティグ/絵

なかがわちひろ/訳 小峰書店 (Eモモ)

「どうしたらすらすらよめるようになるのかな?」と、本をバットのようにふりまわしてみたり、お風呂に浮かべてみたり…。恐竜たちはまたまた大あばれ!

巻末には恐竜の名前のカタカナ表付き。



「ほらぴったり」

ナオミ・ジョーンズ/文

ジェームズ・ジョーンズ/絵 環ROY/訳

ブロンズ新社 (Eモモ)

「さんかく」が自分にぴったり合うところを探すおはなしです。途中で「まる」「しかく」たちと出会います。でもどこか違うみたいです。「さんかく」はぴったり合うところを見つけることができるのでしょうか? 「みんな違ってみんないい」と思える1冊です。



「れいとレイ」

うちやまともこ/作 おかやましんや/絵

絵本塾出版 (ウチ)

「ルックアットザブライトサイド」とは「物事の明るいほうを見る、良い方向に考える」ということ。ロサンゼルスから親の仕事の都合で日本に来た男の子のレイ。そのお隣に住んでいるのが日本人の女の子のれい。ふたりの「れい」を通して、前向きに考えるココロを育ててくれる1冊です。

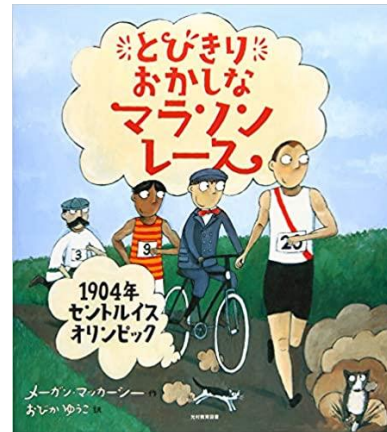


「とびきりおかしなマラソンレース」

メーガン・マッカーシー/作 おびかゆうこ/訳

みつむらきょういとしよ 光村教育図書 (Eモモ)

1904年セントルイスオリンピックのマラソンレース。猛暑の中行われたレースではモモを盗んで食べたり、野良犬に追いかけられたり、毒を飲まされた選手もいて…。今では信じられない、はちゃめちやなエピソードが満載の楽しいノンフィクション絵本です。



「なんで洞窟に壁画を描いたの?」

五十嵐ジャンヌ/著 中島梨絵/画

新泉社 (702イ)

中学生の理乃を通して、洞窟壁画や考古学の魅力を探ります。先史時代の謎の答えを求めて、東京、パリ、ポルドー、レゼジー、ラスコー、そして長野へ。巻頭の口絵を見ながら読めば、より一層、洞窟壁画を楽しめます。皆さんも、理乃と一緒に、謎解きの旅に出かけましょう!

